

〔令和3年度 伊勢市下水道事業会計決算の概要〕

下水道の整備については、流域関連公共下水道の第4期事業を進めるとともに、令和7年度を完成目標とする第5期事業の工事に着手しました。雨水対策としては、勢田川流域等浸水対策実行計画及び下水道ストックマネジメント計画に基づき計画的に事業を進めました。

汚水整備事業は、流域関連公共下水道区域において汚水管渠を11,638m、マンホールポンプを3箇所整備し、宇治・中村特定環境保全公共下水道区域においては、汚水管渠を27m整備し、汚水管渠布設延長は、合計で475,764mとなりました。

雨水整備事業は、黒瀬ポンプ場ポンプ増設の実施設計を行うとともに、桧尻第2排水区雨水幹線排水路整備の実施設計に着手しました。

下水道の施設管理については、吹上ポンプ場他2施設の機械・電気設備の更新工事を進めるとともに、施設の耐水化計画を策定しました。

1. 経営成績 (単位：千円)

区 分	金 額
収益的収入	3,725,118
収益的支出	3,426,922
当年度純利益	298,196
その他未処分利益剰余金変動額	122,270
当年度未処分利益剰余金	420,466

※ 議会の議決により、当年度未処分利益剰余金のうち、その他未処分利益剰余金変動額分は資本金に組み入れ、当年度純利益分は資本的支出の財源として、減債積立金に積立しました。

2. 財政状態 (単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
資 産	72,223,901	負 債	63,306,974
固定資産	70,529,344	固定負債	31,503,720
流動資産	1,694,557	流動負債	2,589,363
		繰延収益	29,213,891
		資 本	8,916,927
		資 本 金	7,730,115
		剰 余 金	1,186,812
		資本剰余金	766,346
		利益剰余金	420,466
合 計	72,223,901	合 計	72,223,901

3. 業務量の概要

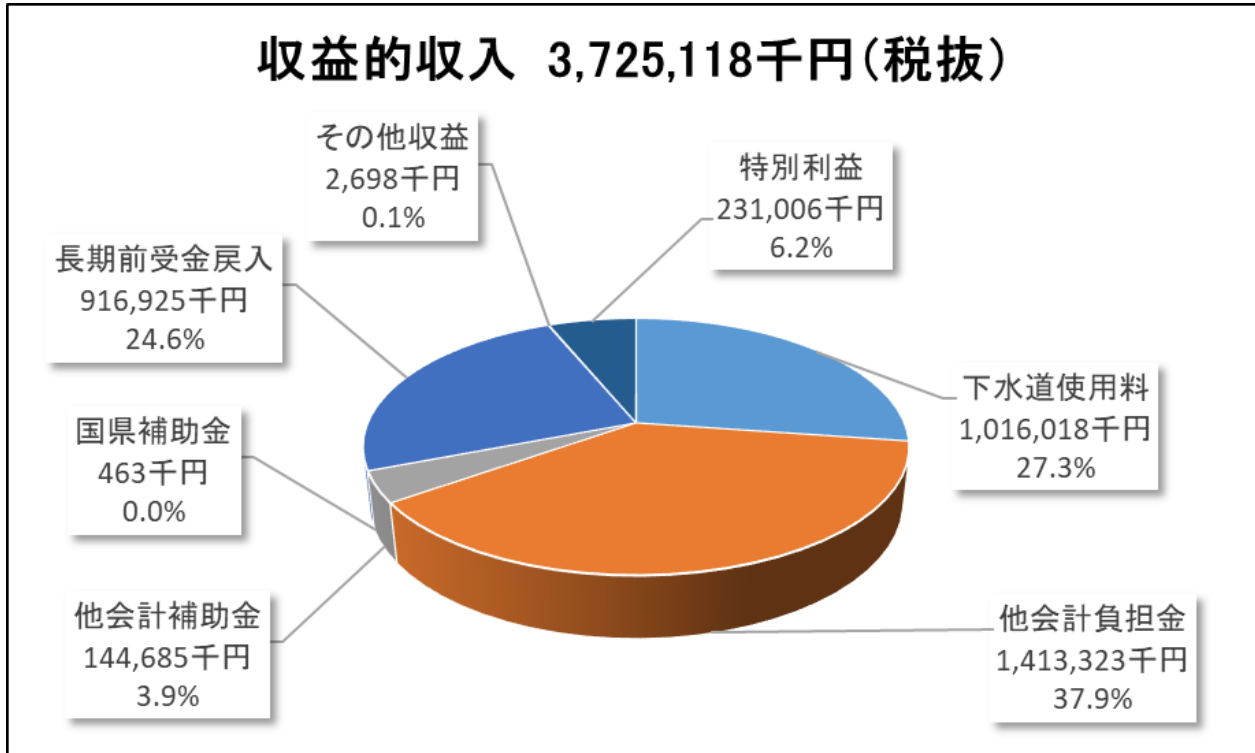
項 目	令和3年度	令和2年度	比 較	
			増・(△)減	比 率
行政区域内人口 A 人	122,580	123,853	△1,273	99.0%
処理区域面積 ha	1,914.3	1,870.1	44.2	102.4%
污水管渠布設延長 m	475,764	464,099	11,665	102.5%
処理区域内戸数 戸	32,182	31,328	854	102.7%
処理区域内人口 B 人	71,333	70,281	1,052	101.5%
水洗化戸数 戸	26,742	25,693	1,049	104.1%
水洗化人口 C 人	59,443	57,846	1,597	102.8%
普及率 B/A %	58.2	56.7	1.5	—
水洗化率 C/B %	83.3	82.3	1.0	—
処理水量 D m ³ /年	6,812,654	6,618,779	193,875	102.9%
有収水量 E m ³ /年	6,801,216	6,706,883	94,333	101.4%
有収率 E/D %	99.8	101.3	△1.5	—
雨水管渠布設延長 m	12,270	12,270	0	100.0%
ポンプ場稼動時間 H/年	2,064.8	2,467.1	△402.3	83.7%

[下水道事業の収支]

1. 収益的収支

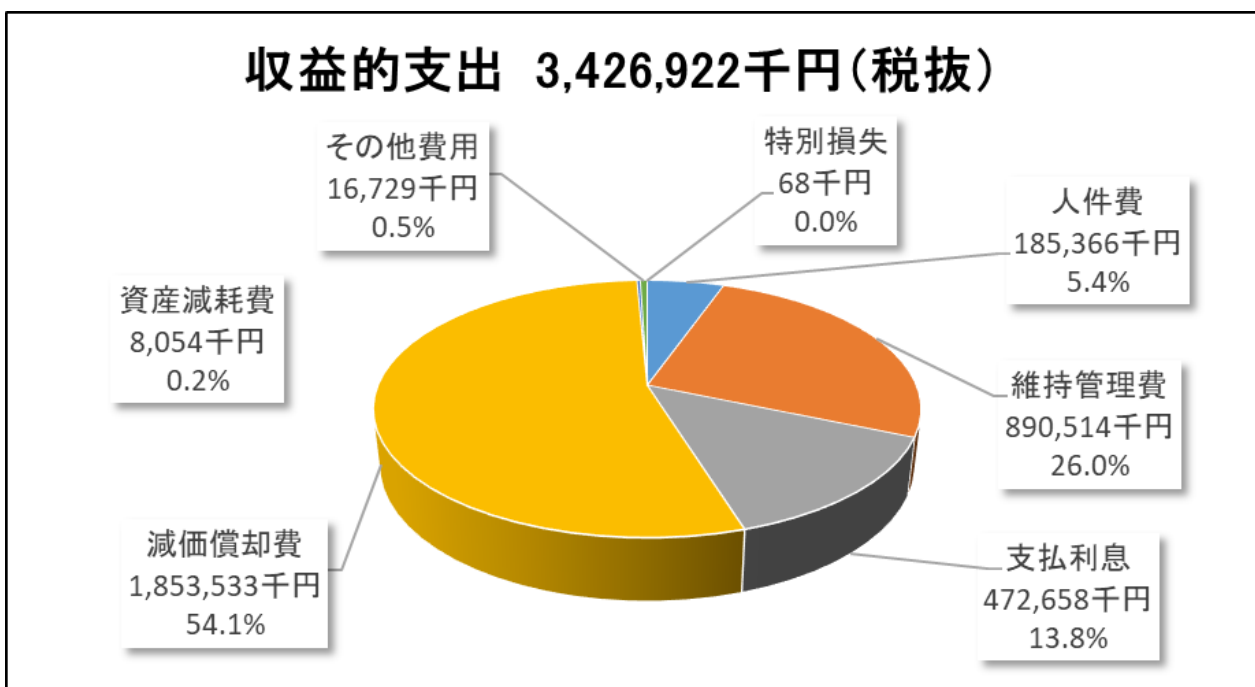
① 収益的収入

施設の維持管理費等下水道事業の経営に必要な経費（収益的支出）の財源。利用者に負担いただく下水道使用料や一般会計繰入金（他会計負担金、他会計補助金）、国県補助金、長期前受金戻入、特別利益等で構成しています。



② 収益的支出

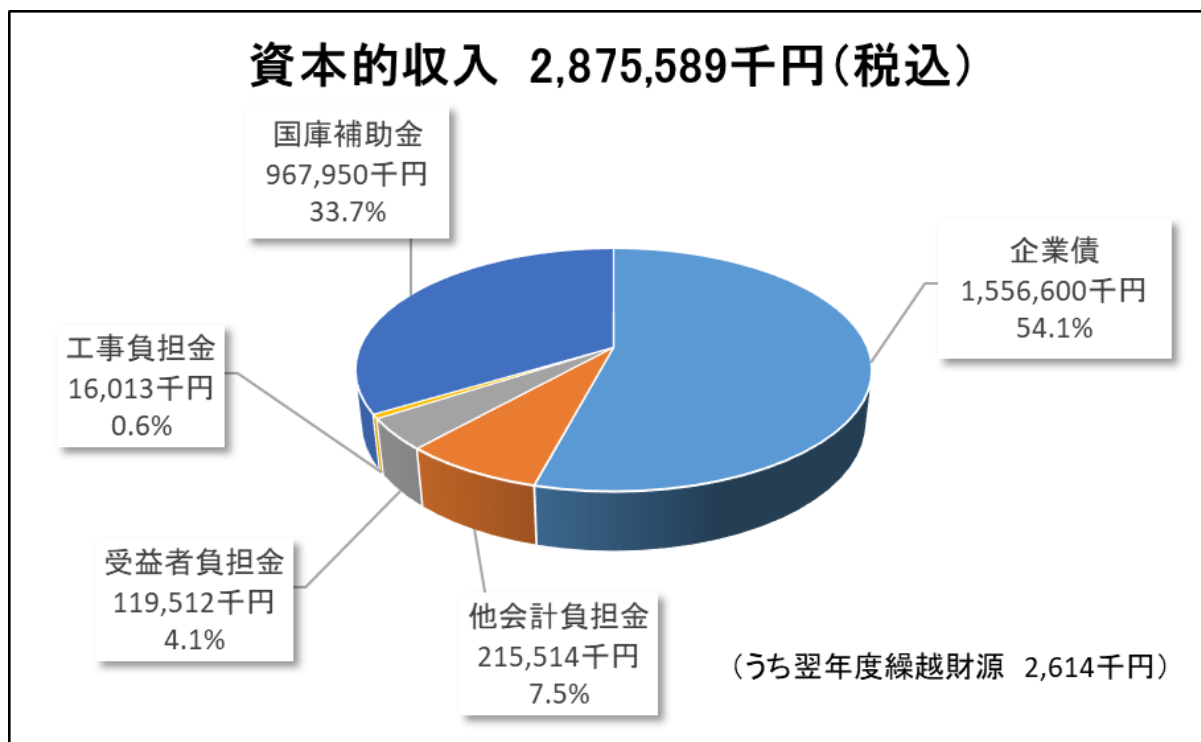
下水道使用料、一般会計繰入金等（収益的収入）を財源として、下水道事業を経営していくために必要な経費。施設の維持管理費、人件費、施設の建設等に要した借入金の支払利息、減価償却費等で構成しています。



2. 資本的収支

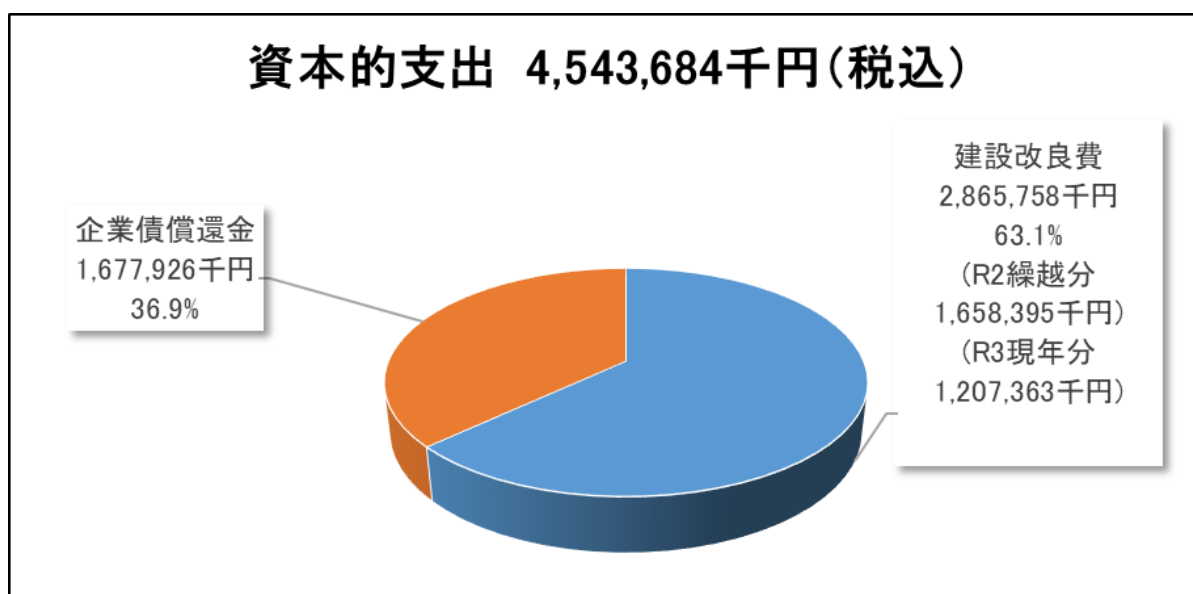
① 資本的収入

施設の建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金（資本的支出）の財源。企業債、一般会計繰入金（他会計負担金）、受益者負担金、工事負担金、国庫補助金で構成しています。



② 資本的支出

企業債や国庫補助金、受益者負担金等（資本的収入）を財源として、将来の経営活動に備えて行う施設・設備の建設改良や企業債の償還にかかる事業費。建設改良費、企業債償還金で構成しています。



資本的収入額（翌年度繰越財源 2,614 千円を除く。）が資本的支出額に不足する額 1,670,709 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 132,326 千円、繰越工事資金 7,451 千円、減債積立金 122,270 千円、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金 1,408,662 千円で補填しました。